

将来の夢を一緒に探そう

進学はその先を見据えて



山縣 真平校長

本当の自分を見つけれられる学校

人生の理想を志す仏教の教えのもと、生徒たちの夢と理想を支え続けてきた上宮高等学校。

「男子校から男女共学になって8年目を迎えました。性別の異なる仲間、多彩な個性を持つ仲間、たくさんの個性と触れ合う中で、自分の個性と向き合い、将来どういう自分になりたいか、学校生活を通して見つけられる環境があります」と校長。卒業後の自分がイメージできるよう、外部講師の講演会や大学見学会を実施し、将来の夢、進学したい大学、学部について、早期から考える機会を設けています。

「進路は、その生徒自身が将来、職業人としていきいきと社会に貢献できるようにするための手段。一人ひとりに合わせ、進路選択においてミスマッチのない指導を実践しています」とのこと。クラスでの学び、行事やクラブなどの経験を生かして、個性を発揮し本当の自分を見つけることができる学校です。

プレップコース



自習室を活用して
志望校合格を目指す

南野 鈴歌

中3の2学期頃、上宮高校を知り、いろいろと調べる中で自分に合っていると思い、プレップコースに進学しました。家政学部の食物学科を目指して、自習室に通う毎日を送っています。

英数コース

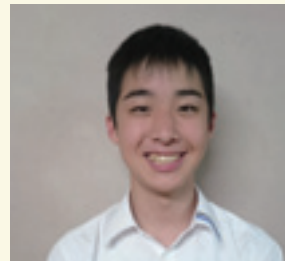


京大医学部を目指して
やっつけてやるぞーと強い意思

清原 慧悟

プレップコースから英数コースにコース変更しました。京大医学部を目指して、何とかやっつけてやろう！という気持ちで上のコースがいいと考えました。ソフトテニスと勉強を両立しています。

パワーコース



警察官になりたいから
防衛大学への進学を希望

坂本 景雪

中3の頃に上宮高校のパワーコースを知り、しっかりと勉強させてもらえる学校だと思い入学しました。警察官になることを夢見て、防衛大学への進学を希望しています。